

## 4 事業別経営状況

令和5年度末における地方公営企業の数は法適用企業で水道事業、工業用水道事業等6種144事業、また、法非適用企業で下水道事業等6種38事業となっている。

以下、各事業の経営状況について順次概説する。

### (1) 水道事業（簡易水道事業を含む）

#### ア 事業数

令和5年度における水道事業及び簡易水道事業は、43事業で前年度と同数である。

規模別にみると、給水人口が1.5万人未満の事業が6事業（構成比14.0%）1.5万人以上3万人未満の事業が9事業（構成比20.9%）となっており、これら給水人口3万人未満の小規模の水道事業が全体の約35%を占めている。

市町村の水道事業着手状況は、令和5年度末で、全42団体（市町村営によるもの40団体、企業団営によるもの2団体）である。

給水人口段階区分別事業数

| 項目     | 給水人口<br>段階別<br>区分 | 15 万 人<br>以 上 | 10 万人 以上<br>15 万人 未満 | 5 万人 以上<br>10 万人 未満 | 3 万人 以上<br>5 万人 未満 | 1.5 万人 以上<br>3 万人 未満 | 1.5 万人 未満 | 計     |
|--------|-------------------|---------------|----------------------|---------------------|--------------------|----------------------|-----------|-------|
|        |                   |               |                      |                     |                    |                      |           |       |
| 事業数    |                   | 5             | 2                    | 9                   | 12                 | 9                    | 6         | 43    |
| 構成比(%) |                   | 11.6          | 4.7                  | 20.9                | 27.9               | 20.9                 | 14        | 100.0 |

#### イ 利用状況

水道事業の給水人口は、令和5年度末で2,649千人となっており、前年度から17千人の減となっている。

また、水道事業を経営している市町村の行政区域内人口に対する普及率は89.2%であり、計画給水人口に対する普及率は86.8%である。

令和5年度の年間総有収水量は、273,279千 $\text{m}^3$ で前年度の275,150千 $\text{m}^3$ に比べ1,871千 $\text{m}^3$ 減少しており、給水人口1人当たり1日平均有収水量（使用水量）は281.9 $\text{l}$ で前年度と比べ0.9 $\text{l}$ 減少している。

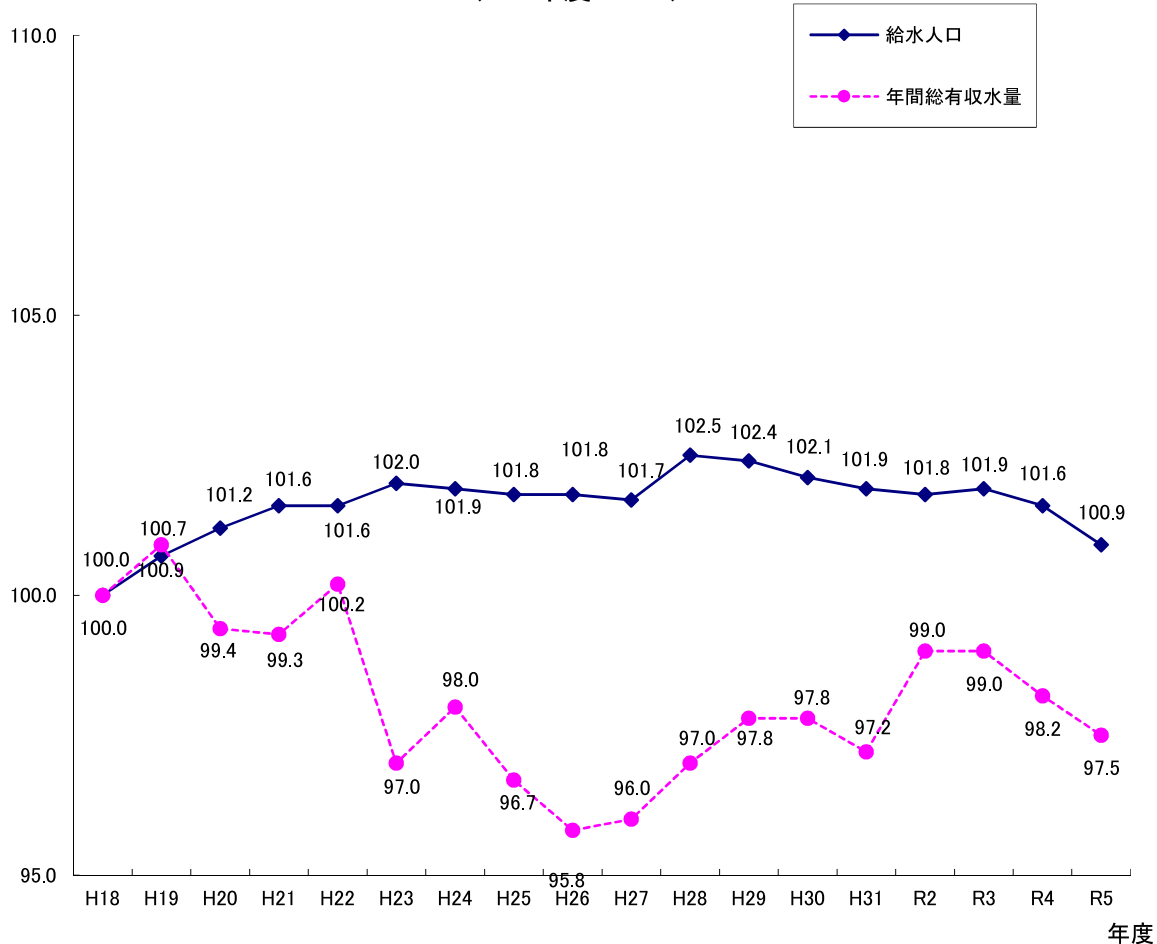
### 水道事業の施設及び利用状況

| 年 度           |                            | 令和5年度      | 令和4年度      | 対前年度比(%) |
|---------------|----------------------------|------------|------------|----------|
| 項 目           |                            |            |            |          |
| 行 政 区 域 内 人 口 | (人)A                       | 2,968,440  | 3,036,103  | 97.8     |
| 計 画 給 水 人 口   | (人)B                       | 3,050,915  | 3,048,605  | 100.1    |
| 現 在 給 水 人 口   | (人)C                       | 2,648,997  | 2,666,051  | 99.4     |
| 普 及 率 (%)     | C/A × 100                  | 89.2       | 87.8       | 101.6    |
|               | C/B × 100                  | 86.8       | 87.5       | 99.2     |
| 配 水 管 延 長     | (千m)                       | 24,381.26  | 24,234.38  | 100.6    |
| 配 水 能 力       | (m <sup>3</sup> /日)D       | 1,296,429  | 1,296,873  | 100.0    |
| 1人当たり1日平均有収水量 | (ℓ) F/365日/C               | 281.87     | 282.75     | 99.7     |
| 年 間 総 配 水 量   | (千m <sup>3</sup> )E        | 311,960.27 | 312,889.37 | 99.7     |
| 年 間 総 有 収 水 量 | (千m <sup>3</sup> )F        | 273,279.46 | 275,150.31 | 99.3     |
| 有 収 率 (%)     | F/E × 100                  | 87.6       | 87.9       | 99.7     |
| 施 設 利 用 率 (%) | 1日平均配水量 /<br>1日配水能力 × 100  | 65.7       | 66.1       | 99.7     |
| 負 荷 率 (%)     | 1日平均配水量 /<br>1日最大配水量 × 100 | 89.9       | 87.0       | 103.3    |
| 最 大 稼 働 率 (%) | 1日最大配水量 /<br>1日配水能力 × 100  | 73.2       | 76.0       | 96.3     |

### 水道事業における給水人口・給水量の推移

| 区分<br>年度 | 給水人口<br>(千人) | 年間総有収水量<br>(千m <sup>3</sup> ) | 平成18年度を100とした場合 |         | 1人1日当たり<br>使用量 (ℓ) |
|----------|--------------|-------------------------------|-----------------|---------|--------------------|
|          |              |                               | 給水人口            | 年間総有収水量 |                    |
| H18      | 2,625        | 280,151                       | 100.0           | 100.0   | 293                |
| H19      | 2,644        | 282,593                       | 100.7           | 100.9   | 287                |
| H20      | 2,656        | 278,528                       | 101.2           | 99.4    | 286                |
| H21      | 2,667        | 278,115                       | 101.6           | 99.3    | 288                |
| H22      | 2,668        | 280,756                       | 101.6           | 100.2   | 278                |
| H23      | 2,678        | 271,655                       | 102.0           | 97.0    | 280                |
| H24      | 2,676        | 274,602                       | 101.9           | 98.0    | 278                |
| H25      | 2,673        | 270,983                       | 101.8           | 96.7    | 275                |
| H26      | 2,673        | 268,405                       | 101.8           | 95.8    | 276                |
| H27      | 2,670        | 268,961                       | 101.7           | 96.0    | 276                |
| H28      | 2,692        | 271,667                       | 102.5           | 97.0    | 279                |
| H29      | 2,687        | 273,968                       | 102.4           | 97.8    | 280                |
| H30      | 2,680        | 274,040                       | 102.1           | 97.8    | 279                |
| R1       | 2,674        | 272,420                       | 101.9           | 97.2    | 278                |
| R2       | 2,672        | 277,273                       | 101.8           | 99.0    | 284                |
| R3       | 2,675        | 277,402                       | 101.9           | 99.0    | 284                |
| R4       | 2,666        | 275,150                       | 101.6           | 98.2    | 283                |
| R5       | 2,649        | 273,279                       | 100.9           | 97.5    | 282                |

水道事業の進展状況  
(H18年度 = 100)



## ウ 経営状況

### a) 損益状況

水道事業の経常収益は678億58百万円（前年度680億2百万円）、経常費用は610億69百万円（前年度612億41百万円）となっている。経常収支比率は、111.1%で収支均衡を維持しており、前年度の111.0%から0.1ポイント増加している。

経常利益が生じた事業は、36事業（前年度40事業）で、経常利益額は、69億74百万円で前年度の67億77百万円に比べ1億97百万円増加している。

一方、経常損失を生じた事業は、7事業（前年度3事業）で、経常損失額は1億85百万円で前年度の17百万円に比べ1億69百万円増加している。

また、累積欠損金を有する事業はない（前年度1事業）。

b) 資本的収支

令和5年度の資本的支出は、434億42百万円で、前年度の423億2百万円に比べ、11億40百万円増加している。この内訳は、建設改良費309億58百万円（前年度292億3百万円）、企業債償還金124億39百万円（前年度125億6百万円）、その他45百万円（前年度5億93百万円）となっている。

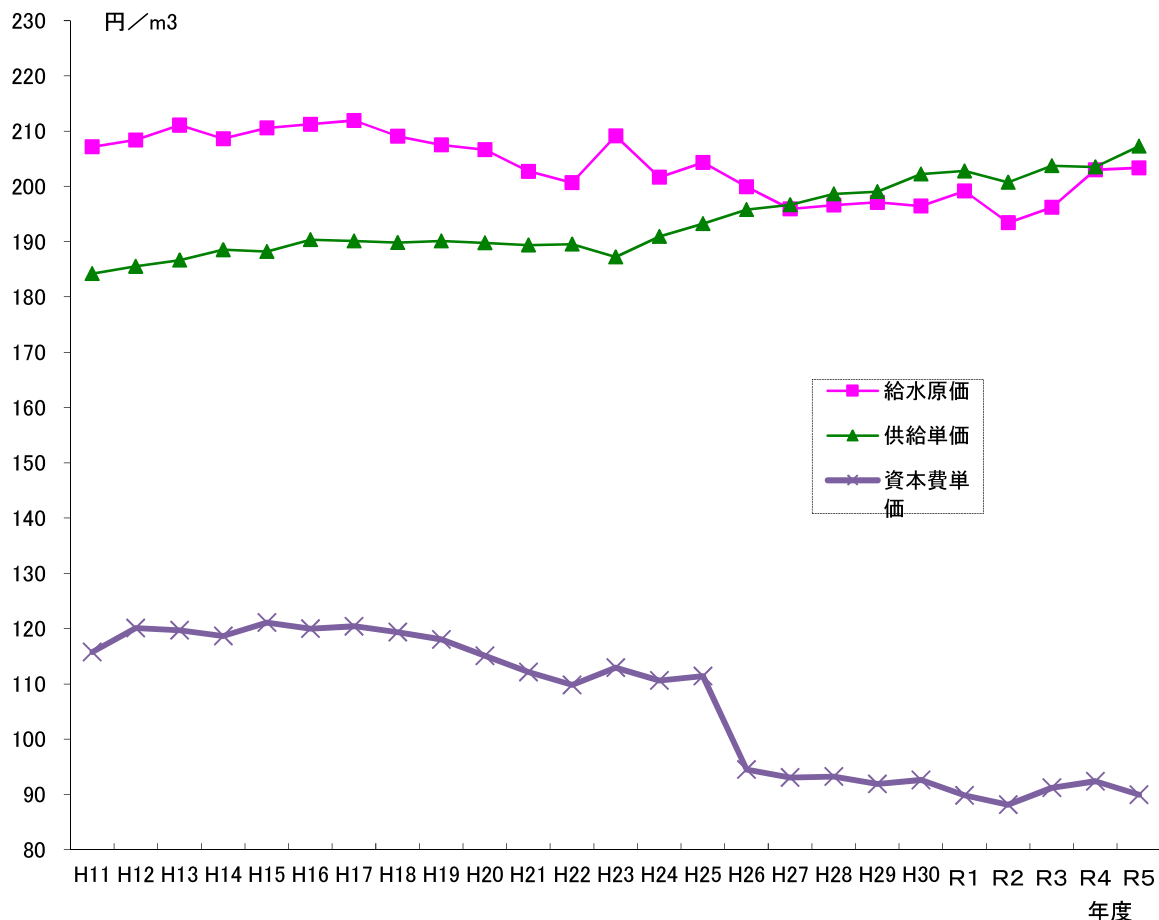
資本的支出に対する財源は、企業債160億84百万円（前年度153億6百万円）、他会計繰入金15億27百万円（前年度15億86百万円）等となっている。

c) 給水原価及び料金の状況

令和5年度における給水量1m<sup>3</sup>当たりの給水原価は、203.34円で前年度の203.02円に比べ0.32円高くなっている。

また、供給単価は207.27円で、前年度の203.55円と比べ3.72円高くなっており、供給単価が給水原価を3.93円上回った。

1m<sup>3</sup>当たりの資本費単価、給水原価、供給単価の推移

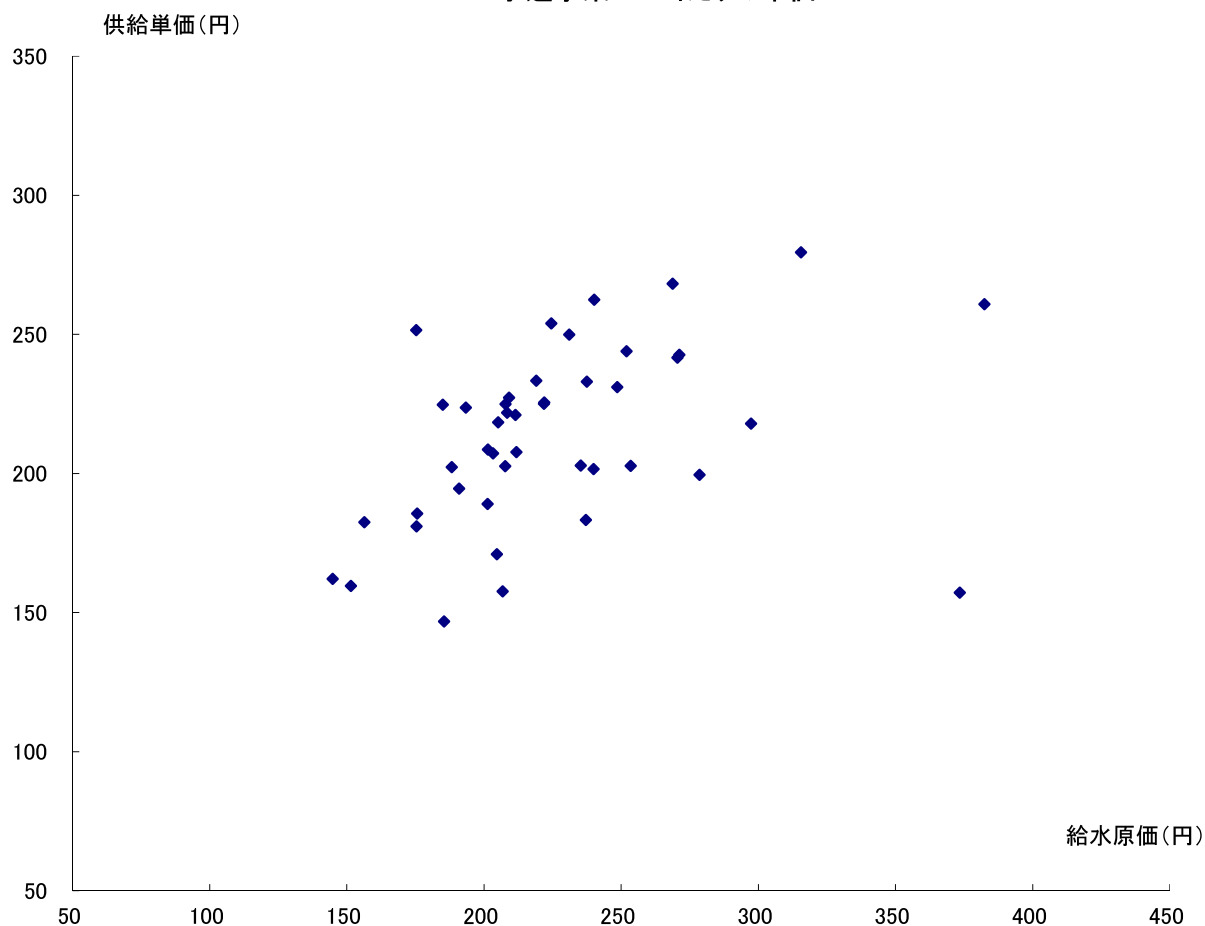


$$\blacklozenge \text{給水原価 (円/m}^3\text{)} = \frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{附帯事業費} + \text{材料及び不用品売却原価}) - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$$

$$\blacksquare \text{供給単価 (円/m}^3\text{)} = \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$$

$$\blacktriangle \text{資本費単価 (円/m}^3\text{)} = \frac{\text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入} + \text{企業債利息} + \text{受水資本費相当額}}{\text{年間総有収水量}}$$

# 水道事業1m<sup>3</sup>当たりの単価



(表番)〔団体名〕(供給単価)(給水原価)

|    |           |        |        |
|----|-----------|--------|--------|
| 1  | 水戸市       | 181.01 | 175.43 |
| 2  | 日立市       | 162.10 | 144.80 |
| 3  | 土浦市       | 225.46 | 222.03 |
| 4  | 古河市       | 159.59 | 151.49 |
| 5  | 石岡市       | 241.62 | 270.48 |
| 6  | 結城市       | 224.65 | 184.99 |
| 7  | 下妻市       | 223.70 | 193.40 |
| 8  | 常総市       | 225.10 | 221.81 |
| 9  | 常陸太田市     | 208.58 | 201.40 |
|    | 常陸太田市(簡水) | 157.12 | 373.50 |
| 10 | 高萩市       | 194.61 | 190.98 |
| 11 | 北茨城市      | 157.65 | 206.85 |
| 12 | 笠間市       | 218.42 | 205.12 |
| 13 | つくば市      | 202.28 | 188.26 |
| 14 | ひたちなか市    | 185.58 | 175.69 |
| 15 | 鹿嶋市       | 249.96 | 231.07 |
| 16 | 潮来市       | 183.23 | 237.18 |
| 17 | 守谷市       | 182.48 | 156.41 |
| 18 | 常陸大宮市     | 207.62 | 211.78 |
| 19 | 那珂市       | 170.93 | 204.71 |
| 20 | 筑西市       | 224.89 | 207.82 |
| 21 | 坂東市       | 220.97 | 211.47 |
| 22 | 稲敷市       | 268.21 | 268.74 |

(表番)〔団体名〕(供給単価)(給水原価)

|    |           |        |        |
|----|-----------|--------|--------|
| 23 | かすみがうら市   | 201.58 | 240.00 |
| 24 | 桜川市       | 279.50 | 315.60 |
| 25 | 神栖市       | 243.97 | 251.97 |
| 26 | 行方市       | 262.47 | 240.21 |
| 27 | 鉾田市       | 260.83 | 382.39 |
| 28 | つくばみらい市   | 232.97 | 237.52 |
| 29 | 小美玉市      | 188.98 | 201.37 |
| 30 | 茨城町       | 227.26 | 209.15 |
| 31 | 大洗町       | 202.81 | 235.27 |
| 32 | 城里町       | 217.94 | 297.33 |
| 33 | 東海村       | 146.83 | 185.50 |
| 34 | 大子町       | 202.77 | 253.53 |
| 35 | 美浦村       | 231.09 | 248.63 |
| 36 | 阿見町       | 233.34 | 219.03 |
| 37 | 河内町       | 242.66 | 271.18 |
| 38 | 八千代町      | 251.55 | 175.29 |
| 39 | 五霞町       | 199.52 | 278.57 |
| 40 | 境町        | 202.61 | 207.71 |
| 41 | 茨城県南水道企業団 | 253.95 | 224.52 |
| 42 | 湖北水道企業団   | 221.78 | 208.42 |
|    | 県平均       | 207.27 | 203.34 |

## (2) 工業用水道事業

### ア 事業数等

令和5年度における工業用水道事業の数（施設数）は、前年度と同数の9事業となっている。

給水先事業所数は、54事業所で前年度より1事業多い。年間総配水量は12,534千 $\text{m}^3$ で、前年度の12,807千 $\text{m}^3$ に比べ273千 $\text{m}^3$ 減少している。

なお、施設利用率（一日平均配水量÷配水能力×100）については44.3%で、前年度の45.4%に比べ1.1ポイント減少している。

### イ 経営状況

令和5年度経常収益は、6億89百万円（前年度6億76百万円）、経常費用は、6億20百万円（前年度6億63百万円）となっており、経常収支比率は111.1%で、前年度の102.0%に比べ9.1ポイント増加している。

## (3) 電気事業

### ア 事業数等

令和5年度における電気事業の数は、前年度と同数の1事業となっている。年間発電電力量は2,955MWhである。

### イ 経営状況

令和5年度経常収益は、1億6百万円（前年度1億1百万円）、経常費用は40百万円（前年度40百万円）となっており、経常収支比率は267.0%で、前年度の252.4%に比べ14.6ポイント増加している。

## (4) 病院事業

### ア 事業数等

令和5年度における病院事業の数は6事業（地方独立行政法人が経営する病院1事業及び想定企業会計1事業含む）となっている。

病床数は延べ671病床で前年度と同数である。

病床利用率（年延入院患者数÷年延病床数×100）は65.7%で、前年度の61.9%に比べ3.8ポイント上回っている。年間延入院患者は161千人で前年度の152千人に比べ9千人増加し、年延外来患者数は371千人で前年度の373千人に比べ2千人減少している。また、一日平均患者数は入院88.1人（前年度83.1人）、外来276.6人（前年度277.7人）となっている。

### イ 経営状況

#### a) 損益状況

経常収益は109億78百万円で、前年度の131億14百万円に比べ21億36百万円減少し、経常費用は119億24百万円で前年度の118億65百万円に比べ59百万円増加している。経常収支比率は92.1%で前年度の110.5%に比べ18.4ポイント減少している。

経常利益を生じた事業はなく前年度から2病院減少している。一方、経常損失を

生じた事業は、4病院で前年度から2病院増加し、金額は9億46百万円で前年度の39百万円に比べ9億7百万円増加している。

b) 資本的収支

資本的支出は21億74百万円で、前年度の22億15百万円に比べ41百万円減少している。主な内訳は、建設改良費8億62百万円(39.7%)、企業債償還金9億81百万円(45.1%)となっている。

資本的支出に対する財源は、企業債4億45百万円、他会計繰入金(地方独立行政法人の運営費負担金を含む。以下同じ。)6億64百万円等となっている。

c) 医業損益

医業収益は95億93百万円で、前年度の110億80百万円に比べ14億87百万円減少している。

医業費用は115億61百万円で、前年度の114億93百万円に比べ68百万円増加している。

d) 他会計繰入金

他会計繰入金は収益的収入に対して12億60百万円、資本的収入に対して6億64百万円で合計19億24百万円となっており、前年度の21億40百万円に比べ2億16百万円減少している。

なお、収益的収入への他会計繰入金は、経常収益に対し11.5%で前年度の10.2%に比べ1.3ポイント上回っている。

(5) 下水道事業

ア 事業数等

令和5年度における下水道事業の数は103事業（法適用企業86事業、法非適用企業17事業）で、9事業が法非適用企業から法適用企業へ移行したが、事業数合計は前年度と同じである。

下水道事業数の推移

| 年 度    | 法適用企業     |          |            |            |            |                  |    | 法非適用企業    |          |            |            |            |                  |    | 合計  |
|--------|-----------|----------|------------|------------|------------|------------------|----|-----------|----------|------------|------------|------------|------------------|----|-----|
|        | 公共<br>下水道 | 特定<br>公共 | 特定環<br>境保全 | 農業集<br>落排水 | 漁業集<br>落排水 | 特定地<br>域生活<br>排水 | 計  | 公共<br>下水道 | 特定<br>公共 | 特定環<br>境保全 | 農業集<br>落排水 | 漁業集<br>落排水 | 特定地<br>域生活<br>排水 | 計  |     |
| 平成30年度 | 7         | 0        | 2          | 0          | 0          | 0                | 9  | 36        | 1        | 18         | 31         | 1          | 7                | 94 | 103 |
| 令和元年度  | 12        | 0        | 6          | 4          | 0          | 1                | 23 | 31        | 1        | 14         | 27         | 1          | 6                | 80 | 103 |
| 令和2年度  | 37        | 1        | 16         | 15         | 1          | 3                | 73 | 6         | 0        | 4          | 16         | 0          | 4                | 30 | 103 |
| 令和3年度  | 37        | 1        | 16         | 16         | 1          | 3                | 74 | 6         | 0        | 4          | 15         | 0          | 4                | 29 | 103 |
| 令和4年度  | 38        | 1        | 17         | 17         | 1          | 3                | 77 | 5         | 0        | 3          | 14         | 0          | 4                | 26 | 103 |
| 令和5年度  | 40        | 1        | 19         | 22         | 1          | 3                | 86 | 3         | 0        | 1          | 9          | 0          | 4                | 17 | 103 |

イ 利用状況

下水道事業（法適用及び法非適用）における現在処理区域内人口は、令和5年度末で2,025千人で、前年度と同様であり、現在処理区域面積は122千haで、前年度121千haに比べ1千ha増加している。

年間総処理水量（雨水処理水量と汚水処理水量の合計。）は262百万m<sup>3</sup>で、前年度256百万m<sup>3</sup>に比べ5百万m<sup>3</sup>増加し、年間有収水量は207百万m<sup>3</sup>で、前年度と同様である。

下水道事業供用開始団体の処理区域の状況

| 区 分    | 項 目 | 現在処理区域内人口<br>(千人) | 現在処理区域面積<br>(ha) | 年間総処理水量<br>(千m <sup>3</sup> ) | 年間有収水量<br>(千m <sup>3</sup> ) | 有収率<br>(%) |
|--------|-----|-------------------|------------------|-------------------------------|------------------------------|------------|
| 法適用企業  |     | 1,948             | 84,644           | 254,106                       | 200,001                      | 78.7%      |
| 法非適用企業 |     | 77                | 37,108           | 7,510                         | 6,672                        | 88.8%      |
| 合計     |     | 2,025             | 121,752          | 261,617                       | 206,672                      | 79.0%      |

※有収率＝(年間有収水量÷年間総処理水量)×100



## ウ 経営状況

### ① 下水道事業全体

令和5年度の法適用企業と法非適用企業を合計した総収益は890億66百万円で、前年度881億96百万円に比べ8億70百万円増加、総費用は814億23百万円で、前年度805億73百万円に比べ8億50百万円増加している。

全体の収支は70億54百万円の黒字となっており、前年度59億39百万円と比べ11億15百万円増加している。

### 全体の経営状況

(単位:百万円)

| 年度<br>項目 | 令和4年度(A) |        |       | 令和5年度(B) |        |       | 増減額(B)-(A) |        |       |
|----------|----------|--------|-------|----------|--------|-------|------------|--------|-------|
|          | 法適用企業    | 法非適用企業 | 合計    | 法適用企業    | 法非適用企業 | 合計    | 法適用企業      | 法非適用企業 | 合計    |
| (事業数)    | (72)     | (26)   | (98)  | (82)     | (17)   | (99)  | (10)       | (△9)   | (1)   |
| 黒字額      | 5,955    | 281    | 6,236 | 6,716    | 401    | 7,117 | 761        | 120    | 881   |
| (事業数)    | (5)      | (0)    | (5)   | (4)      | (0)    | (4)   | (△1)       | (0)    | (△1)  |
| 赤字額      | 297      | 0      | 297   | 63       | 0      | 63    | △ 234      | 0      | △ 234 |
| (事業数)    | (77)     | (26)   | (103) | (86)     | (17)   | (103) | (9)        | (△9)   | (0)   |
| 収支       | 5,658    | 281    | 5,939 | 6,653    | 401    | 7,054 | 995        | 120    | 1,115 |

(注) 黒字・赤字の判断は、法適用企業にあつては純損益、法非適用企業にあつては実質収支による。

### ② 法適用企業

#### a) 損益状況

経常収益は862億66百万円で、前年度の831億57百万円に比べ31億8百万円増加し、経常費用は795億24百万円で前年度の774億25百万円に比べ20億99百万円増加している。経常収支比率は108.5%で前年度の107.4%に比べ1.1ポイント増加している。

経常利益を生じた事業は、82事業で前年度から10事業増加し、経常利益額は68億7百万円で前年度の60億26百万円に比べ7億81百万円増加している。一方、経常損失を生じた事業は、4事業で前年度から1事業減少し、経常損失額は65百万円で前年度の2億94百万円に比べ2億28百万円減少している。

また、累積欠損金を有する事業は、6事業で前年度と同数であり、累積欠損金の額は、7億97百万円で前年度の8億41百万円に比べ43百万円減少している。

#### b) 資本的収支

資本的支出は653億38百万円で、前年度の629億75百万円に比べ23億63百万円増加している。主な内訳は、建設改良費295億20百万円(前年度287億52百万円)、企業債償還金345億68百万円(前年度341億58百万円)となっている。

資本的支出に対する財源は、企業債193億4百万円(前年度181億58百万円)、他会計繰入金86億12百万円(前年度90億32百万円)、国県補助金87億43百万円(前年度88億55百万円)等となっている。

下水道事業の経営状況の推移(法適用企業)

(単位:百万円)

| 年 度                        |               | R1     | R2     | R3     | R4     | R5     |
|----------------------------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 項 目                        |               |        |        |        |        |        |
| 1. 総収益 (B) + (C) + (G) (A) |               | 33,005 | 82,103 | 82,616 | 83,283 | 86,342 |
| 経常収益 (B) + (C)             |               | 32,893 | 81,931 | 82,475 | 83,157 | 86,266 |
| (1) 営業収益 (B)               |               | 13,525 | 32,161 | 32,779 | 33,023 | 33,456 |
| うち 下水道使用料                  |               | 12,309 | 29,341 | 29,651 | 29,813 | 30,471 |
| 雨水処理負担金                    |               | 1,181  | 2,775  | 3,087  | 3,167  | 2,927  |
| (2) 営業外収益 (C)              |               | 19,367 | 49,770 | 49,696 | 50,135 | 52,810 |
| うち 国庫補助金                   |               | 80     | 169    | 196    | 405    | 257    |
| 都道府県補助金                    |               | 39     | 323    | 227    | 97     | 133    |
| 他会計補助金                     |               | 9,618  | 22,228 | 22,009 | 22,295 | 24,404 |
| 長期前受金戻入                    |               | 9,582  | 26,855 | 27,046 | 27,076 | 27,841 |
| 2. 総費用 (E) + (F) + (H) (D) |               | 30,401 | 77,026 | 76,075 | 77,625 | 79,689 |
| 経常費用 (E) + (F)             |               | 30,144 | 76,382 | 75,970 | 77,425 | 79,524 |
| (1) 営業費用 (E)               |               | 26,445 | 68,706 | 68,885 | 70,891 | 73,254 |
| (2) 営業外費用 (F)              |               | 3,699  | 7,676  | 7,085  | 6,534  | 6,269  |
| うち 支払利息                    |               | 3,458  | 7,179  | 6,531  | 6,004  | 5,711  |
| 3. 経常利益                    | {(B+C)-(E+F)} | 2,749  | 5,814  | 6,827  | 6,026  | 6,807  |
| 4. 経常損失(△)                 |               |        | 265    | 321    | 294    | 65     |
| 5. 特別利益 (G)                |               | 112    | 171    | 141    | 126    | 76     |
| 6. 特別損失 (H)                |               | 257    | 644    | 105    | 200    | 165    |
| 7. 純利益                     | (A) - (D)     | 2,604  | 5,489  | 6,903  | 5,955  | 6,716  |
| 8. 純損失(△)                  |               |        | 413    | 362    | 297    | 63     |
| 9. 当年度未処分利益剰余金             |               | 2,871  | 5,728  | 8,732  | 10,076 | 11,613 |
| 10. 当年度未処理欠損金(△)           |               | 40     | 403    | 569    | 841    | 797    |
| 総事業数                       |               | 23     | 73     | 74     | 77     | 86     |
| 経常収支比率(%)                  |               | 109.1  | 107.3  | 108.6  | 107.4  | 108.5  |
| 総収比率(%)                    |               | 108.6  | 106.6  | 108.6  | 107.3  | 108.3  |

下水道事業の資本収支の推移(法適用企業)

(単位:百万円)

| 年 度   |                | R1     | R2     | R3     | R4     | R5     |
|-------|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 項 目   |                |        |        |        |        |        |
| 資本的支出 | 建設改良費          | 11,235 | 28,245 | 30,481 | 28,752 | 29,520 |
|       | 企業債償還金         | 14,807 | 33,650 | 33,980 | 34,158 | 34,568 |
|       | うち 建設改良のための企業債 | 13,815 | 30,066 | 30,537 | 30,639 | 30,951 |
|       | その他            | 78     | 78     | 84     | 65     | 1,250  |
|       | 計              | 26,120 | 61,973 | 64,544 | 62,975 | 65,338 |
| 同上財源  | 内部資金           | 10,990 | 25,288 | 23,504 | 25,651 | 26,582 |
|       | 外部資金           | 15,085 | 36,675 | 41,026 | 37,324 | 38,637 |
|       | うち 企業債         | 6,967  | 17,397 | 19,675 | 18,158 | 19,304 |
|       | うち 建設改良のための企業債 | 5,943  | 14,845 | 16,304 | 15,333 | 16,477 |
|       | 他会計出資金         | 2,074  | 3,514  | 3,362  | 3,647  | 4,366  |
|       | 他会計借入金         |        |        | 0      |        |        |
|       | 他会計補助金         | 1,856  | 5,134  | 5,615  | 5,384  | 4,246  |
|       | 国庫補助金          | 3,637  | 9,200  | 9,712  | 8,745  | 8,586  |
|       | 都道府県補助金        | 6      | 54     | 127    | 111    | 157    |
|       | 翌年度繰越財源充当額(△)  | 148    | 786    | 591    | 635    | 367    |
|       | 計              | 26,076 | 61,963 | 64,530 | 62,975 | 65,219 |
| 財源不足額 |                | 44     | 10     | 14     | 0      | 119    |

- (注) 1. 内部資金＝補填財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金  
 2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

### ③ 法非適用企業

収益的収支のうち総収益は27億24百万円で、前年度の49億12百万円に比べ21億88百万円減少している。このうち他会計繰入金は16億90百万円（前年度31億99百万円）に達し、全体の62.0%（前年度65.1%）を占めている。総費用は17億34百万円で、前年度の29億48百万円に比べ12億14百万円減少している。

また、資本的支出は19億円54百万円（前年度41億円89百万円）で、うち建設改良費が2億89百万円（前年度12億04百万円）、地方債償還金が16億46百万円（前年度29億46百万円）となっており、これに対する資本的収入は12億01百万円（前年度23億26百万円）で、うち地方債が2億27百万円（前年度7億87百万円）、他会計繰入金が7億13百万円（前年度10億31百万円）となっている。

実質収支は17事業全てが黒字で、黒字額は4億1百万円（前年度2億81百万円）となっている。

#### 下水道事業の経営状況の推移(法非適用企業)

(単位:百万円)

| 年 度             |                     | H30      | R1       | R2      | R3      | R4      | R5    | 対前年度比<br>(%) |
|-----------------|---------------------|----------|----------|---------|---------|---------|-------|--------------|
| 項 目             |                     |          |          |         |         |         |       |              |
| 収益的収支           | 総収益 (A)             | 45,174   | 39,583   | 6,215   | 5,752   | 4,912   | 2,724 | 55.5         |
|                 | 営業収益                | 22,916   | 19,409   | 1,904   | 1,839   | 1,587   | 944   | 59.5         |
|                 | 営業収益(受託工事収益を除く) (B) | 22,915   | 19,409   | 1,902   | 1,839   | 1,587   | 944   | 59.5         |
|                 | うち 使用料収入            | 21,456   | 18,088   | 1,830   | 1,802   | 1,550   | 912   | 58.8         |
|                 | 雨水処理負担金             | 1,431    | 1,294    | 56      | 27      | 31      | 28    | 90.3         |
|                 | 収益的収支に関する他会計繰入金     | 21,072   | 19,037   | 3,942   | 3,705   | 3,199   | 1,690 | 52.8         |
|                 | 総費用 (C)             | 25,572   | 21,194   | 3,629   | 3,293   | 2,948   | 1,734 | 58.8         |
|                 | 営業費用                | 18,706   | 15,571   | 2,772   | 2,534   | 2,342   | 1,420 | 60.6         |
|                 | うち 職員給与費            | 1,666    | 1,479    | 272     | 328     | 274     | 159   | 58.0         |
|                 | 収支差引                | 19,602   | 18,390   | 2,586   | 2,459   | 1,964   | 990   | 50.4         |
| 資本的収支           | 資本的収入               | 28,919   | 26,093   | 3,410   | 2,737   | 2,326   | 1,201 | 51.6         |
|                 | 地方債                 | 13,702   | 11,988   | 1,331   | 1,068   | 787     | 227   | 28.8         |
|                 | 国庫補助金               | 7,290    | 6,488    | 836     | 521     | 326     | 57    | 17.5         |
|                 | 都道府県補助金             | 92       | 58       | 35      | 25      | 6       | 0     | 0.0          |
|                 | 資本的収支に関する他会計繰入金     | 5,794    | 5,732    | 884     | 868     | 1,031   | 713   | 69.2         |
|                 | 資本的支出               | 48,706   | 40,938   | 5,950   | 5,193   | 4,189   | 1,954 | 46.6         |
|                 | 建設改良費               | 22,935   | 18,383   | 2,477   | 1,747   | 1,204   | 289   | 24.0         |
|                 | 地方債償還金(D)           | 25,517   | 22,405   | 3,439   | 3,410   | 2,946   | 1,646 | 55.9         |
|                 | 収支差引                | △ 19,787 | △ 14,846 | △ 2,540 | △ 2,456 | △ 1,864 | △ 753 | 40.4         |
|                 | 実質収支 (E)            |          |          |         |         |         |       |              |
|                 | 黒 字                 | 2,116    | 5,214    | 332     | 308     | 281     | 401   | 142.7        |
|                 | 赤 字(△)              | 0        | 0        | 0       | 0       | 0       | 0     | -            |
| 収益的収支比率 (%)     | (A) / (C)+(D) × 100 | 88.4     | 90.8     | 87.9    | 85.8    | 83.3    | 80.6  | 96.7         |
| 赤字比率 (%)        | (E) / (B) × 100     | 0.0      | 0.0      | 0.0     | 0.0     | 0.0     | 0.0   | -            |
| 総 事 業 数         |                     | 94       | 80       | 30      | 29      | 26      | 17    | 65.4         |
| 収益的収支で赤字を生じた事業数 |                     | 1        | 2        | 1       | 0       | 0       | 17    | -            |
| 実質収支で赤字を生じた事業数  |                     | 0        | 0        | 0       | 0       | 0       | 0     | -            |

## エ 汚水処理原価と使用料単価の状況

使用料単価は法適用企業が152.36円／ $\text{m}^3$ で、前年度（151.96円／ $\text{m}^3$ ）に比べ0.3％増加、法非適用企業は136.74円／ $\text{m}^3$ で、前年度（150.19円／ $\text{m}^3$ ）に比べ9.0％減少しており、全体は151.85円／ $\text{m}^3$ で、前年度（151.87円／ $\text{m}^3$ ）に比べ0.0％減少している。

汚水処理原価は、法適用企業が165.62円／ $\text{m}^3$ （維持管理費115.44円／ $\text{m}^3$ 、資本費50.18円／ $\text{m}^3$ ）で、前年度（164.20円／ $\text{m}^3$ ）に比べ0.9％増加、法非適用企業は218.05円／ $\text{m}^3$ （維持管理費206.75円／ $\text{m}^3$ 、資本費11.31円／ $\text{m}^3$ ）で、前年度（234.34円／ $\text{m}^3$ ）に比べ7.0％減少しており、全体は167.31円／ $\text{m}^3$ （維持管理費118.39円／ $\text{m}^3$ 、資本費48.92円／ $\text{m}^3$ ）で、前年度（167.71円／ $\text{m}^3$ ）に比べ0.2％減少している。

本来使用料により回収すべき汚水に係る処理原価について、実際にどの程度を回収しているかを示す数値である経費回収率は、法適用企業が92.0％、法非適用企業が62.7％、全体で90.8％となっている。

## 下水道事業における汚水処理原価と使用料単価との比較

（単位：円）

| 項 目 \ 年 度               |             | 法適用企業   |         |        | 法非適用企業  |         |        | 合 計     |         |        |
|-------------------------|-------------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|
|                         |             | R4      | R5      | 対前年増減率 | R4      | R5      | 対前年増減率 | R4      | R5      | 対前年増減率 |
| 使 用 料 単 価               | A           | 151.96  | 152.36  | 0.3%   | 150.19  | 136.74  | -9.0%  | 151.87  | 151.85  | 0.0%   |
| 汚 水 処 理 原 価             | B           | 164.20  | 165.62  | 0.9%   | 234.34  | 218.05  | -7.0%  | 167.71  | 167.31  | -0.2%  |
| 内 訳                     | 維 持 管 理 費 分 | 113.88  | 115.44  | 1.4%   | 218.24  | 206.75  | -5.3%  | 119.09  | 118.39  | -0.6%  |
|                         | 資 本 費 分     | 50.32   | 50.18   | -0.3%  | 16.10   | 11.31   | -29.8% | 48.61   | 48.92   | 0.6%   |
| A - B                   |             | △ 12.24 | △ 13.26 |        | △ 84.15 | △ 81.32 |        | △ 15.83 | △ 15.46 |        |
| 経費回収率<br>A / B × 100(%) |             | 92.5    | 92.0    | -0.5%  | 64.1    | 62.7    | -2.2%  | 90.6    | 90.8    | 0.2%   |

（注）1. 使用料単価＝使用料収入÷年間有収水量

2. 汚水処理原価＝汚水処理費÷年間有収水量

3. 経費回収率＝使用料単価÷汚水処理原価

## (6) 市場事業

### ア 事業数等

令和5年度における法非適用の市場事業は、前年度と同様の5事業となっている。

### イ 経営状況

収益的収支の総収益は7億6百万円で前年度（7億67百万円）に比べ61百万円減少しており、総費用は4億66百万円で前年度（5億27百万円）に比べ61百万円減少となっている。

また、資本的支出は6億12百万円（前年度3億71百万円）で、うち建設改良費が4億99百万円（前年度2億58百万円）、地方債償還金が1億13百万円（前年度1億14百万円）となっており、これに対する資本的収入は2億88百万円（前年度2億3百万円）で、うち地方債が1億97百万円（前年度1億32百万円）、他会計繰入金が91百万円（前年度71百万円）となっている。

実質収支をみると、5事業全てが黒字であり、黒字額は5億99百万円で、前年度（7億17百万円）に比べ1億18百万円の減となっている。

## (7) 観光施設事業

### ア 事業数等

令和5年度における法非適用の観光施設事業は、前年度と同数の1事業となっている。

### イ 経営状況

収益的収支の総収益は88百万円で前年度（89百万円）とほぼ同額、総費用は70百万円で前年度（74百万円）に比べ4百万円減少となっている。

また、資本的支出、資本的収入はいずれもゼロである（前年度の資本的支出、資本的収入はいずれもゼロである。）。

実質収支は黒字であり、黒字額は9百万円で、前年度（4百万円）に比べ5百万円増加となっている。

## (8) 宅地造成事業

### ア 事業数等

令和5年度における法非適用の宅地造成事業は、前年度に比べ1事業減の8事業となっている。

### イ 経営状況

収益的収支の総収益は31億89百万円で前年度（42億56百万円）に比べ10億67百万円減少し、総費用は5億52百万円で前年度（33億51百万円）に比べ27億99百万円減少している。

また、資本的支出は29億87百万円（前年度32億20百万円）で、うち建設改良費が20億27百万円（前年度21億27百万円）、地方債償還金が8億71百万円（前年度8億53百万円）となっており、これに対する資本的収入は25億66百万円（前年度24億72百万円）で、うち地方債が2億47百万円（前年度2億85百万円）、

他会計繰入金が20億45百万円（前年度20億7百万円）となっている。

実質収支をみると、8事業全てが黒字であり、黒字額は3億92百万円で、前年度（3億21百万円）に比べ71百万円の増となっている。

#### （9）駐車場整備事業

##### ア 事業数等

令和5年度における法非適用の駐車場事業は、前年度と同数の4事業となっている。

##### イ 経営状況

収益的収支の総収益は1億82百万円で前年度（1億99百万円）に比べ17百万円減少し、総費用は1億3百万円で前年度（1億32百万円）に比べ29百万円減少している。

また、資本的支出は1億76百万円（前年度8億4百万円）で、うち建設改良費が97百万円（前年度7億40百万円）、他会計への繰出金が50百万円（前年度36百万円）、地方債償還金が28百万円（前年度27百万円）となっており、これに対する資本的収入は1億07百万円（前年度7億83百万円）で、うち地方債が97百万円（前年度6億15百万円）、他会計繰入金が10百万円（前年度10百万円）となっている。

実質収支をみると、4事業全てが黒字であり、黒字額は31百万円で、前年度（48百万円）に比べ17百万円減となっている。

#### （10）介護サービス事業

##### ア 事業数等

令和5年度における法非適用の介護サービス事業は、前年度と同数の3事業となっている。

##### イ 経営状況

収益的収支の総収益は10億96百万円で前年度（9億59百万円）に比べ1億37百万円増加しており、総費用は10億94百万円で前年度（9億57百万円）に比べ1億37百万円増加となっている。

また、資本的支出は49百万円（前年度26億12百万円）で、うち建設改良費が10百万円（前年度26億6百万円）、地方債償還金が36百万円（前年度6百万円）となっており、これに対する資本的収入は46百万円（前年度26億12百万円）で、うち他会計繰入金46百万円（前年度1億8百万円）となっている。

実質収支をみると、3事業全てが黒字であり、黒字額は1百万円で、前年度（21百万円）に比べ20百万円の減となっている。